

目 次

1. 動的複合実行方式に基づく統合的プログラミング環境
……………佐藤 豊・板野肯三………… 1
2. 超時空プログラミングシステム Uranus ……………中島秀之………… 13
3. 招待講演「新しい宇宙像」……………森本雅樹………… 25
4. 夏のシンポジウム報告……………有山正孝………… 27
5. 若手の会報告……………相原玲二………… 31
6. GPCC 報告……………竹内郁雄………… 35
7. 論理プログラムの変換による効率化……………中川裕志………… 39
8. スーパー・コンピュータによる Prolog の高速実行……………金田 泰………… 47
9. Concurrent Prologによるオンライン在庫管理システムの記述
……………大木 優・二村良彦・竹内彰一・宮崎敏彦・古川康一………… 57
10. 属性文法によるコンパイラ生成系……………石塚治志・佐々政孝………… 69
11. λ 行為インタプリタの設計試作
……………岸田克己・辻 尚史・五十嵐滋………… 81
12. Unix Emacs に漢字を教えた話……………植田健治………… 93
13. 柔軟に機能を定義できるスクリーン・エディタについて
……………馬野元秀………… 97
14. 編集子 SPE ……………島内剛一…………109
15. プロセス・ネットワークによる OS について
……………田胡和哉・益田隆司…………121
16. ワークステーション用オペレーティング・システムの移植について
……………多田好克…………133
17. ファイル領域の利用状況の調査と改善……………前野年紀…………139
18. 多面体の分解アルゴリズムに関する考察……………古川 進…………149
19. 楽曲の特徴抽出……………野瀬 隆・高田正之…………157
20. マンマシンシステムとしての自動演奏システムの現状
……………笹川瑠美・三好和憲・五十嵐滋…………167
21. レビューのレビュー……………君島 浩・日野克重…………175
22. 大型コンピュータを用いたオンライン・ペーパーレス・
ブレイル・システムの開発……………小川靖彦・中山和彦…………183

本 PDF ファイルは 1985 年発行の「第 26 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>